

平成29年6月22日

平成29年度北海道札幌啓成高等学校第1回評議員会議議事録

北海道札幌啓成高等学校

1 出席者

- 学校評議員 佐々木 亨氏、田中 芳章氏
- 教職員 丸木 克朗 校長、上野 秀俊 副校長、高野 隆広 教頭
中原 浩 教務部長、服部 洋宜 生徒指導部長、
萩生田 健 進路指導副部長、植木 玲一 SSH推進部長 計9名

2 日時

平成29年6月21日(水) 18:30～19:40

3 ご意見等

- 普通科の入試で倍率が下がったこと原因は何か。
→ここ数年の高倍率により、「難しくなった」と考えられているのではないかと。昨年度の中学校訪問においても、ほとんどの学校から難易度が上がっているとの話を伺った。
- 自転車事故において高校生が加害者となるケースが見受けられるが、本校ではどうか。
→本校では、ここ数年の間に自転車事故で加害者となったケースはない。しかし、自転車の乗り方や道路いっばいに広がって歩行しているなどの指摘が年に数回はある。また、自転車による事故については、信号の遵守など交通ルールを守っているにもかかわらず自動車と接触するケースもあり、特に交差点や横断歩道などにおいて周囲をよく確認した行動をとり自身の安全を守るように指導していきたい。
- SSHが導入されて8年目になるが、SSHで学んだ生徒は今どうなっているのか。
→平成22年にSSHの指定を受けたが、その年に高校に入学した生徒は、この春に大学を卒業した。大学で学び、そのまま研究を続ける生徒もいる。また、SSHプログラムや自分たちでテーマを設定してグループで探究することを高校で実践していた、大学においても自主的に学ぶ姿勢が見受けられレポートの作成や周りとの協力して研究を進めるということに強みを発揮しているとのことである。
- 学生生活を終え仕事を始めた若い人たちの中に、他と協力して働くことが苦手であったり、言われたことはできるが自分で考えていない、マニュアルがないと仕事ができない等の話を聞くようになっている。あるテーマに対して賛成と反対のグループに分けて集団で意見を戦わせるディベートのように、他とのコミュニケーション力を育むよう力を高校で身につけさせてほしいと思う。
→本校で行われている探究活動等を通じて、生徒一人一人が、グループで協力し自主的に学ぼうとする姿勢は身につけている。変化する社会の中で生きる力を育むため、現在行っている教育活動をより充実させ、教育活動の向上を目指していく。

4 連絡事項

- 第2回目学校評議員会議は、学校評価委員会と同時に2月22日(木)に実施予定である。